

## 第2章

### 子育て家庭を取り巻く環境



## 第2章 子育て家庭を取り巻く環境

### 1 子育て環境について

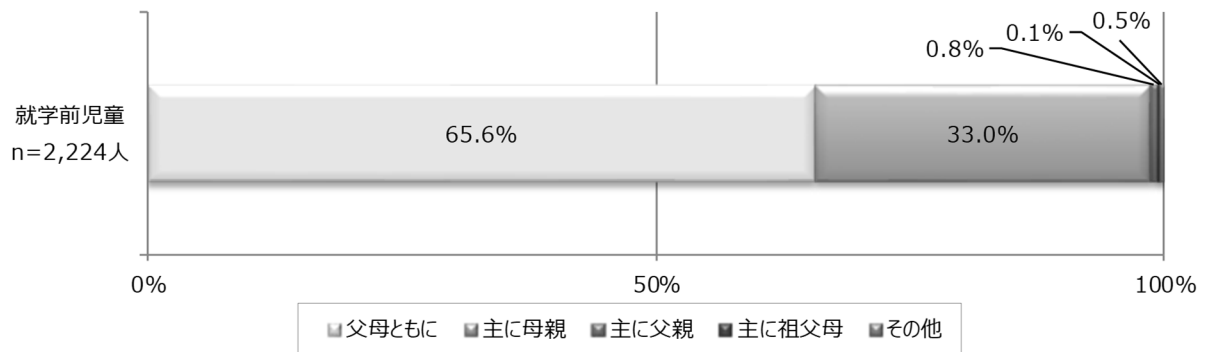
#### (1) 1. 就学前児童の主な保育者と親族等協力者の状況

就学前児童の主な保育者の状況を見ると、「父母ともに」(65.6%)が最も多く、次いで「主に母親」(33.0%)となっています。

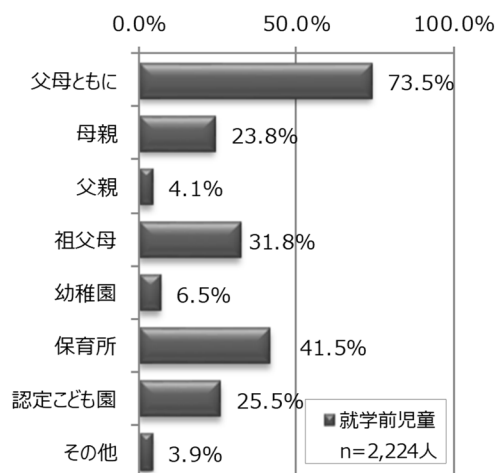
日常的に子育てに関わっている人(施設含む)は、「父母ともに」(73.5%)が最も多く、次いで「保育所」(41.5%)、「祖父母」(31.8%)、「認定こども園」(25.5%)、「母親」(23.8%)の順となっています。

また、子育てに影響を与える環境をみると、「家庭」(97.0%)が最も多く、次いで「保育所」(51.9%)、「認定こども園」(32.1%)、「地域」(27.4%)の順となっています。

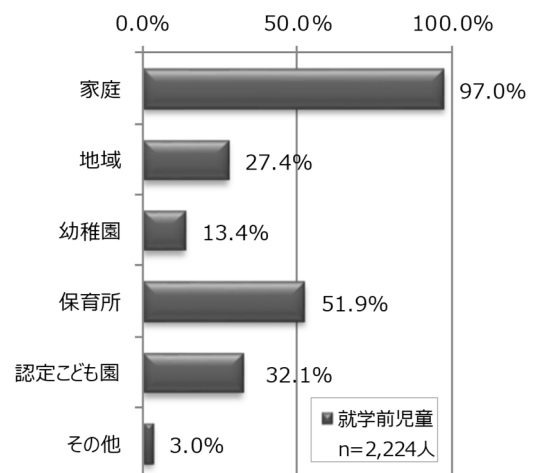
問6 主な保育者の状況



問7 日常的に子育てに関わっている人(施設含む)



問8 子育てに影響を与える環境

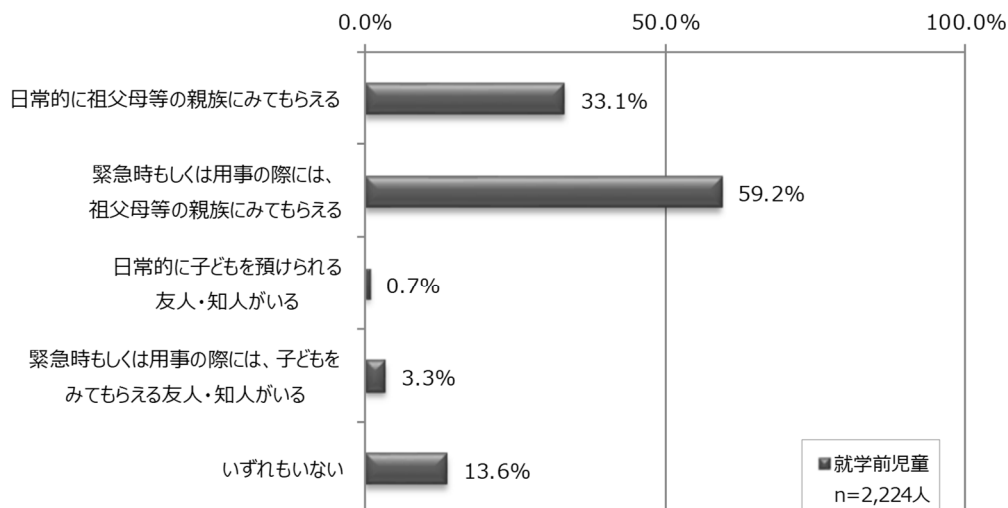


就学前児童の主な親族等協力者の状況を見ると、「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族にみてもらえる」(59.2%)が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(33.1%)の順となっています。一方、「いずれもない」と回答した人は13.6%となっています。

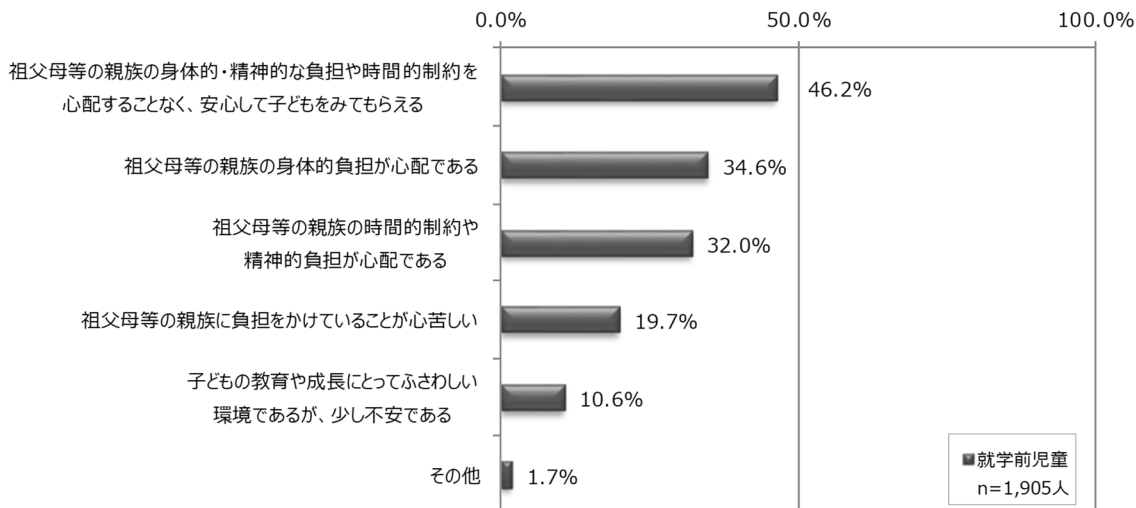
祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考えに対して、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(46.2%)が最も多いものの、「祖父母等の親族の身体的負担が心配である」(34.6%)や「祖父母等の親族の時間的制約や精神的負担が心配である」(32.0%)などの回答もみられ、祖父母の身体的・精神的な負担を心配しながら子どもをみてもらっている人も多くいます。

また、友人・知人に子どもをみてもらうことへの考えに対しては、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(56.6%)が最も多く、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的負担が心配である」(24.1%)、「友人・知人に負担をかけていることが心苦しい」(20.5%)、「友人・知人の身体的負担が心配である」(18.1%)の順となっており、親族や友人等に子どもを預けることができても心苦しさなどを感じていることがうかがえます。

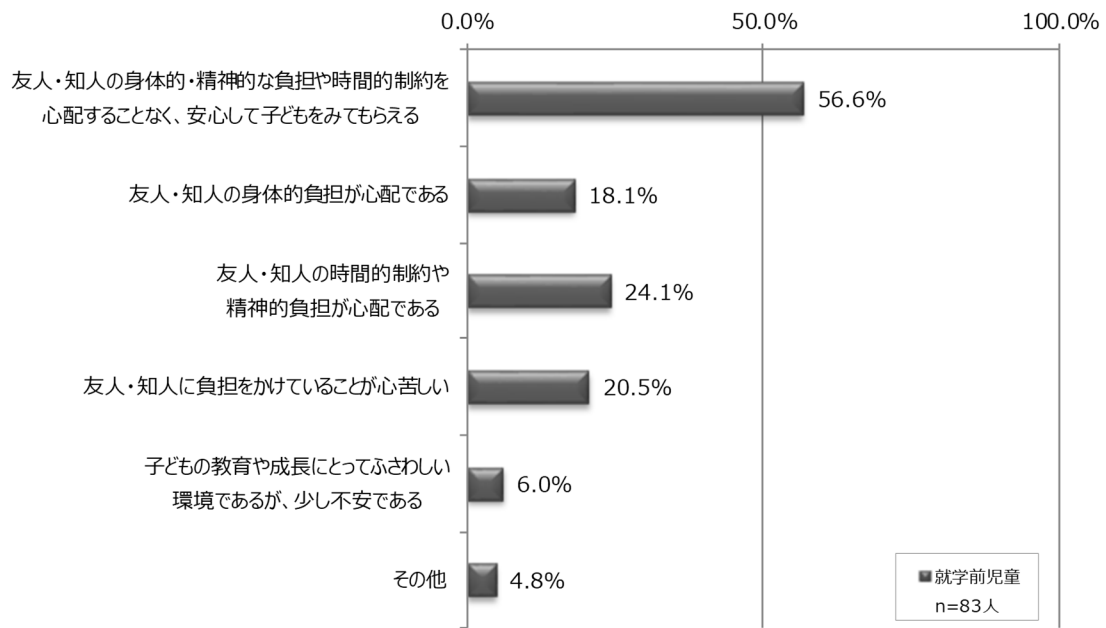
問9 主な親族等協力者の状況



問9-1 祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考え



問9-2 友人・知人に子どもをみてもらうことへの考え



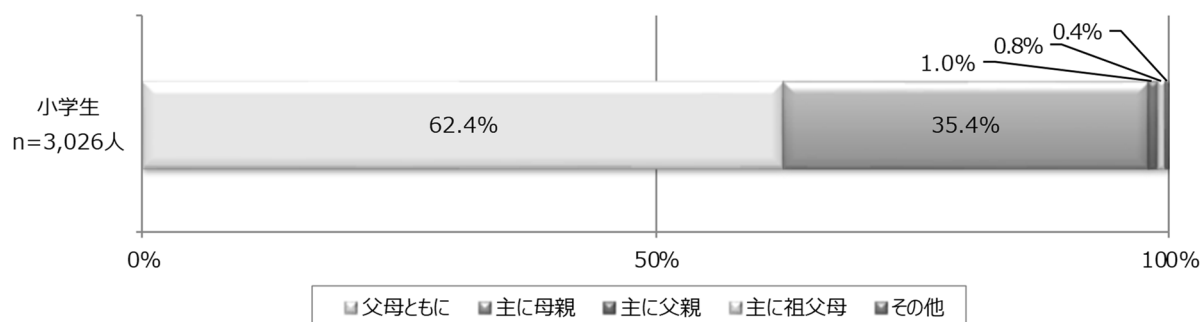
## 2. 小学生の主な保育者と親族等協力者の状況

小学生の主な保育者の状況をみると、「父母ともに」（62.4%）が最も多く、次いで「主に母親」（35.4%）となっています。

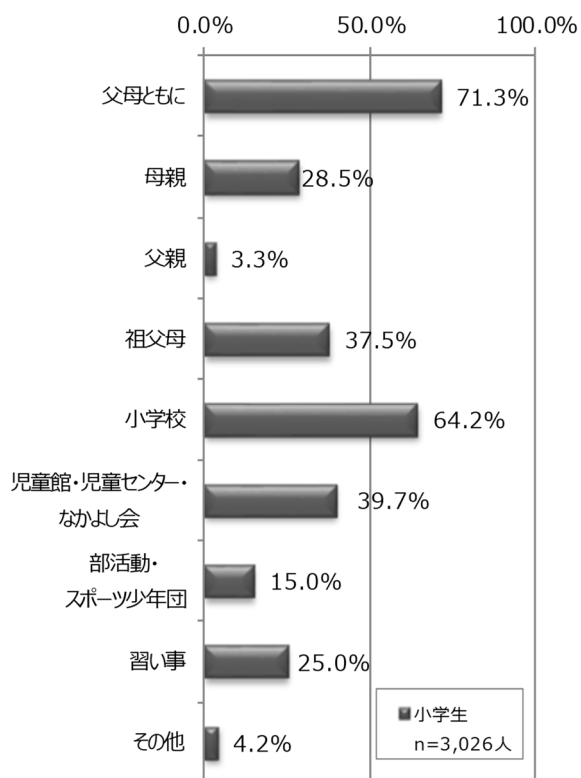
日常的に子育てに関わっている人（施設含む）は、「父母ともに」（71.3%）が最も多く、次いで「小学校」（64.2%）、「児童館・児童センター・なかよし会」（39.7%）、「祖父母」（37.5%）、「母親」（28.5%）の順となっています。

また、子育てに影響を与える環境をみると、「家庭」（95.7%）が最も多く、次いで「小学校」（85.7%）、「地域」（31.3%）の順となっています。

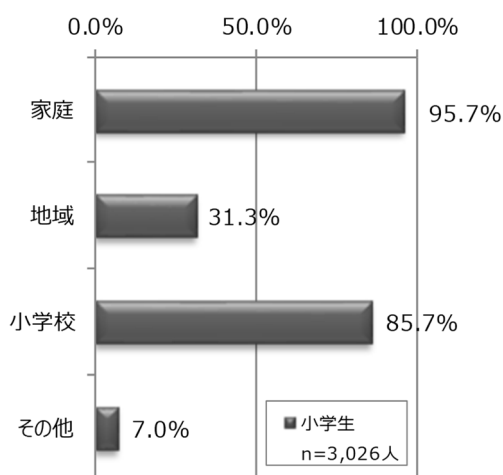
問6 主な保育者の状況



問7 日常的に子育てに関わっている人（施設含む）



問8 子育てに影響を与える環境

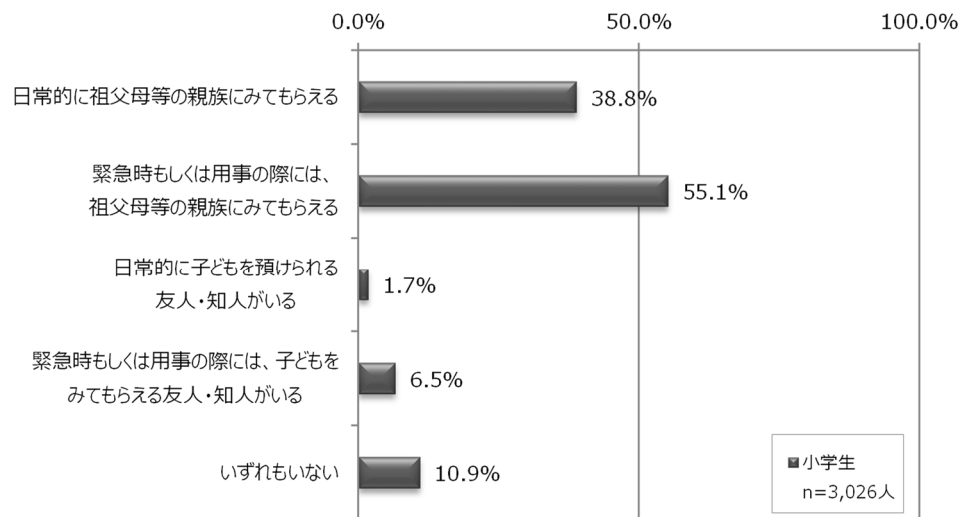


小学生の主な親族等協力者の状況を見ると、「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族にみてもらえる」(55.1%)が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(38.8%)の順となっています。一方、「いずれもない」と回答した人は10.9%となっています。

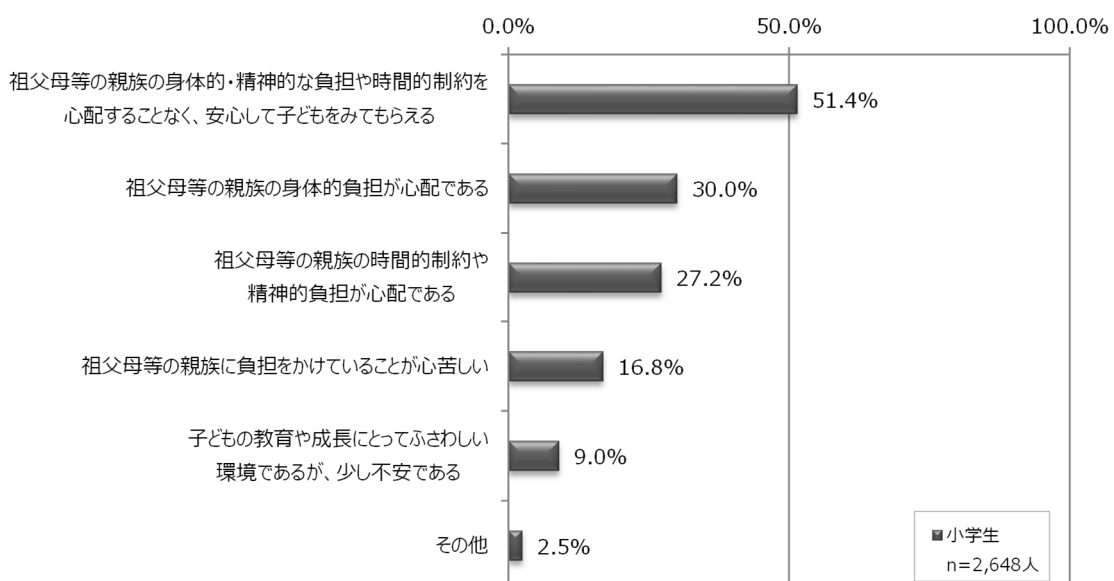
祖父母等の親族に子どもをみてもらおうことへの考えに対して、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(51.4%)が最も多いものの、「祖父母等の親族の身体的負担が心配である」(30.0%)、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的負担が心配である」(27.2%)などの回答もみられ、就学前児童と同様、祖父母の身体的・精神的な負担を心配しながら子どもをみてもらっている人も多くなります。

また、友人・知人に子どもをみてもらおうことへの考えに対しては、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(52.0%)が最も多く、次いで「友人・知人に負担をかけていることが心苦しい」(27.1%)、「友人・知人の時間的制約や精神的負担が心配である」(25.3%)の順となっており、こちらも就学前児童と同様の傾向となっています。

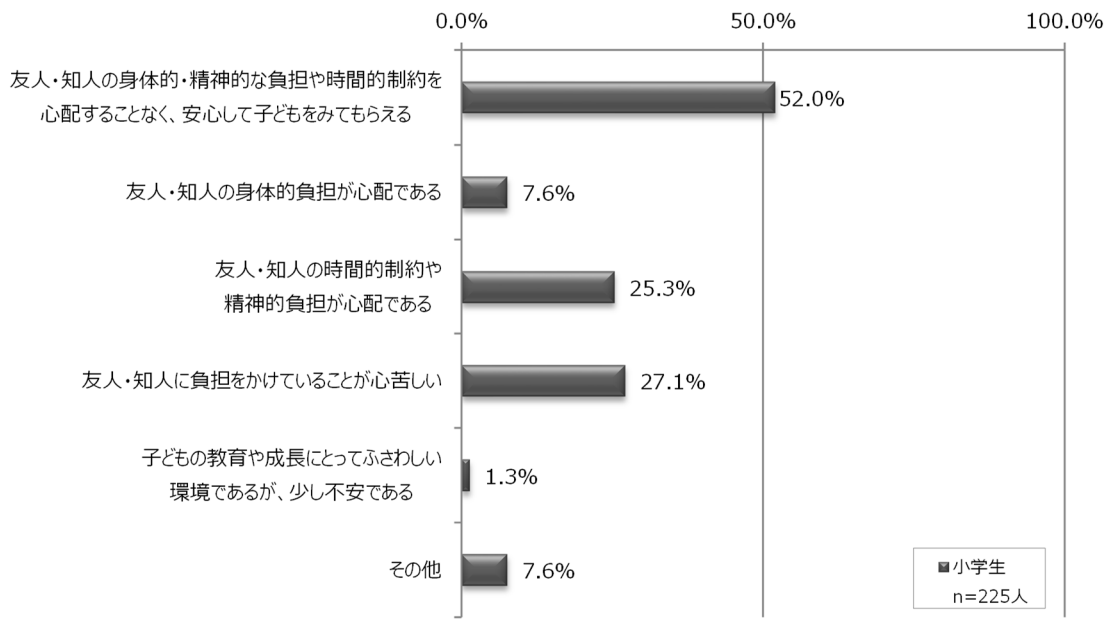
問9 主な親族等協力者の状況



問9-1 祖父母等の親族に子どもをみてもらおうことへの考え



問9-2 友人・知人に子どもをみてもらうことへの考え



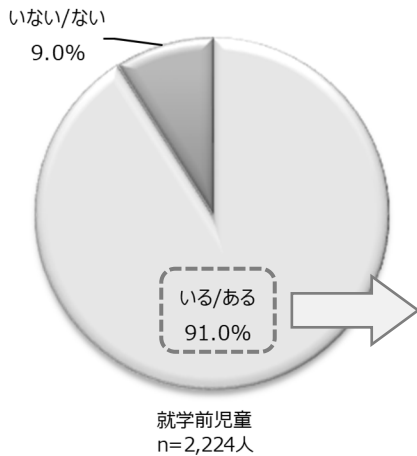


(2) 1. 就学前児童の子育てに関する相談者の状況

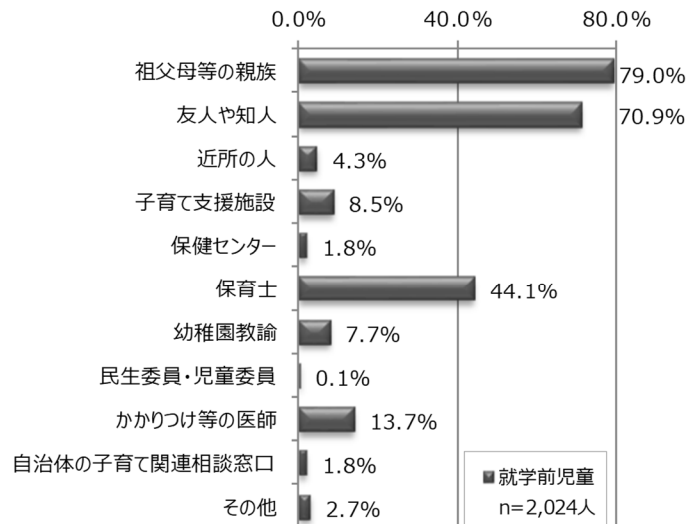
就学前児童の気軽に相談できる人の有無をみると、「いる／ある」(91.0%)が大半を占め、「いない／ない」は9.0%にとどまっています。

気軽に相談できる相談者の状況は、「祖父母等の親族」(79.0%)が最も多く、次いで「友人や知人」(70.9%)、「保育士」(44.1%)、「かかりつけ等の医師」(13.7%)の順となっています。

問 10 気軽に相談できる人の有無



問 10-1 気軽に相談できる相談者の状況

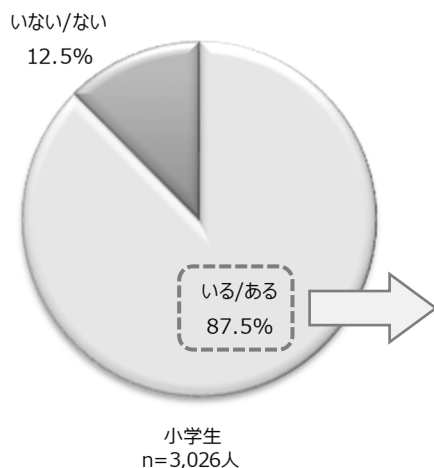


2. 小学生の子育てに関する相談者の状況

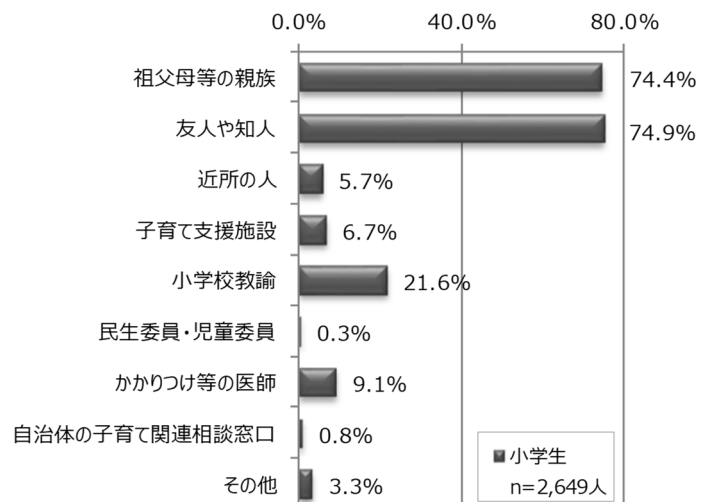
小学生の気軽に相談できる人の有無をみると、「いる／ある」(87.5%)が大半を占め、「いない／ない」は12.5%にとどまっています。

気軽に相談できる相談者の状況は、「友人や知人」(74.9%)と「祖父母等の親族」(74.4%)が多く、次いで「小学校教諭」(21.6%)の順となっています。

問 10 気軽に相談できる人の有無



問 10-1 気軽に相談できる相談者の状況

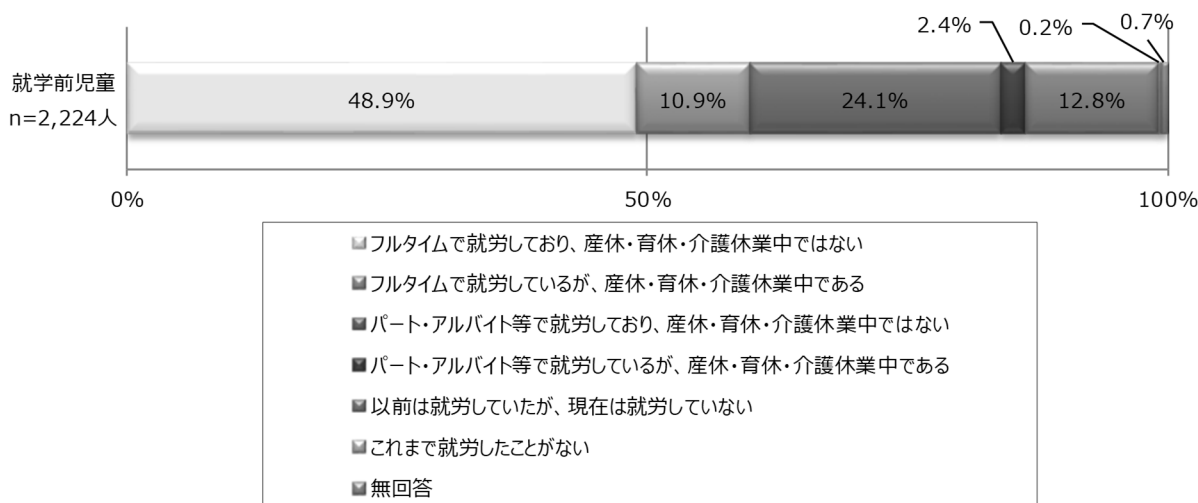


## 2 主な保育者とその就労状況

### (1) 1. 就学前児童の母親の就労状況

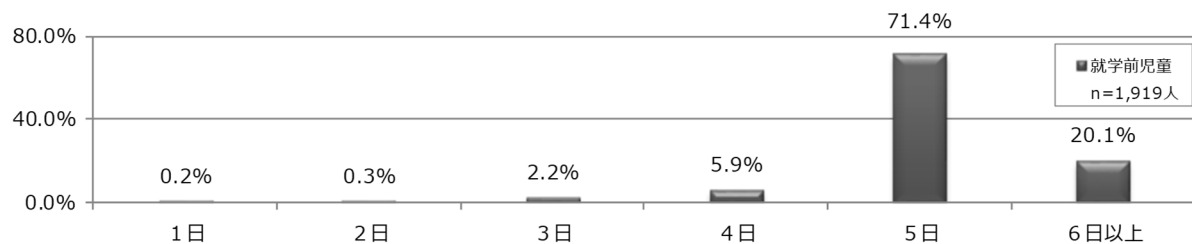
就学前児童の母親の就労状況をみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(48.9%)と「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(24.1%)を合わせた就労している人は73.0%となっています。「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(10.9%)と「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(2.4%)を合わせた産休・育休・介護休業中の人は13.3%となっています。

問12(1) 母親の就労状況

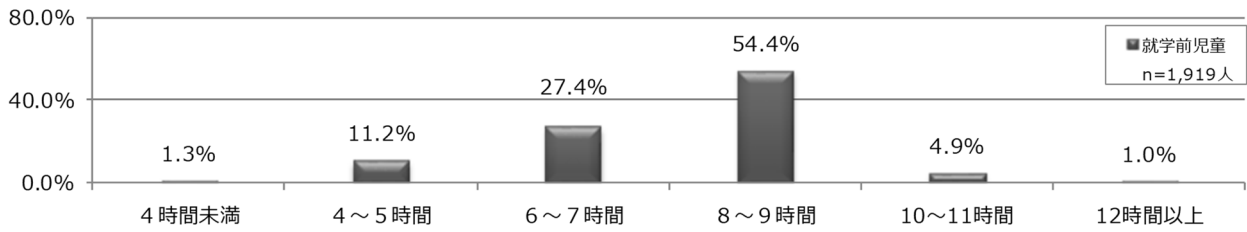


就学前児童の母親の就労日数、就労時間をみると、「5日」(71.4%)、「8～9時間」(54.4%)が最も多くなっています。  
 母親の出勤時間は、「8時台」(48.2%)、「7時台」(34.0%)、「9時台」(13.2%)の順となっています。  
 また、帰宅時間は「18～19時台」(42.5%)、「16～17時台」(29.2%)の順に多く、20時以降の帰宅は2.3%となっています。

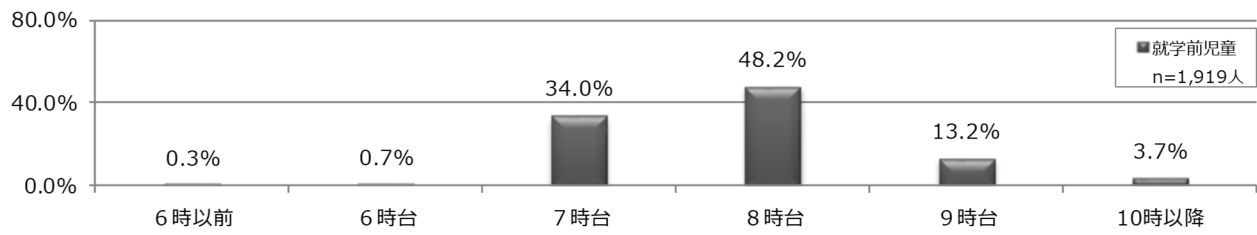
問12(1)-1 母親の就労日数(1週当たり)



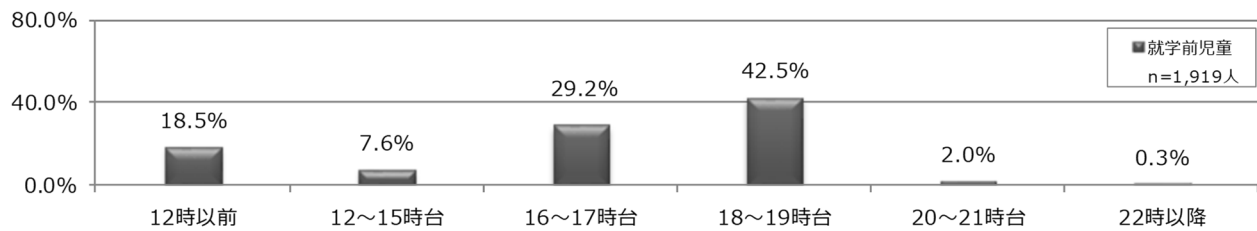
問12(1)-1 母親の就労時間(1日当たり)



問12(1)-2 母親の出勤時間

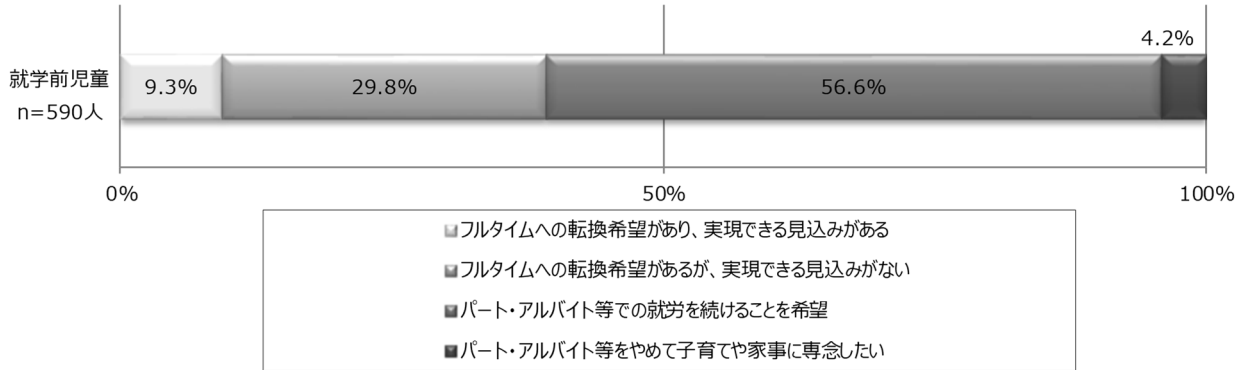


問12(1)-2 母親の帰宅時間



就学前児童の母親のパートタイムからフルタイムへの転換意向をみると、フルタイムを希望する人は39.1%となっていますが、そのうち実現できる見込みのある人は9.3%と1割弱にとどまっています。

問13(1) 母親のパートタイムからフルタイムへの転換意向

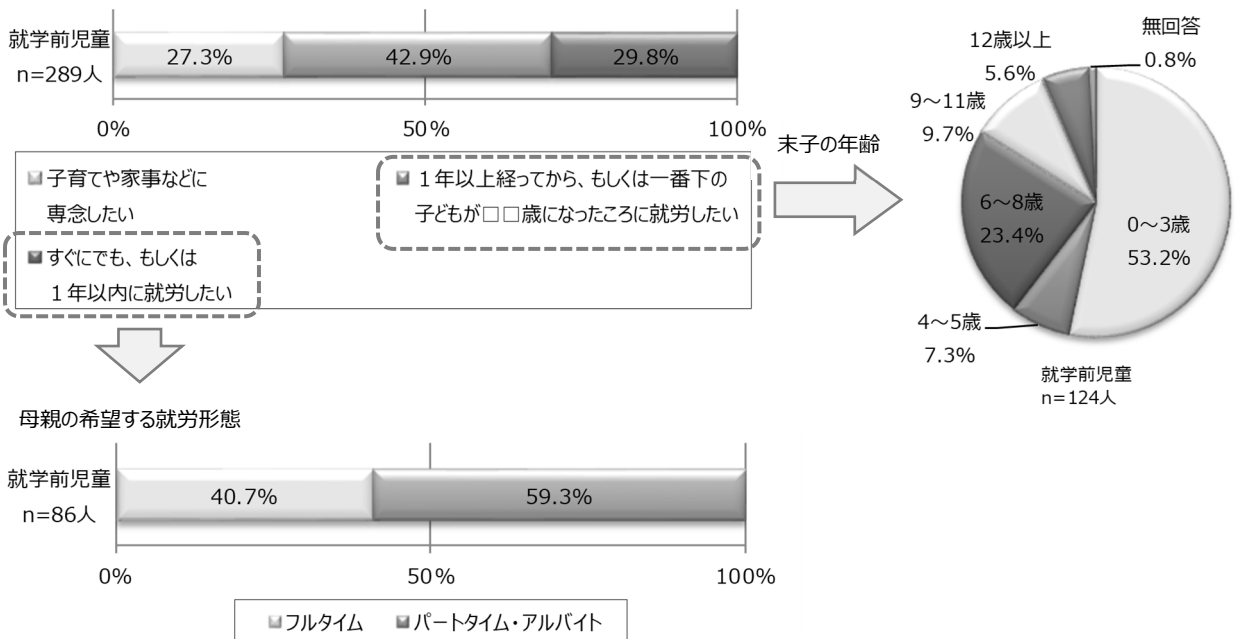


就学前児童の就労していない母親の今後の就労希望をみると、「1年以上経ってから、もしくは一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」(42.9%)が最も多く、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(29.8%)と合わせると72.7%が就労したいと考えています。

就労希望時の末子の年齢は、「0～3歳」(53.2%)、「6～8歳」(23.4%)、「9～11歳」(9.7%)、「4～5歳」(7.3%)となっており、小学校にあがるまでの時期が約6割を占めています。

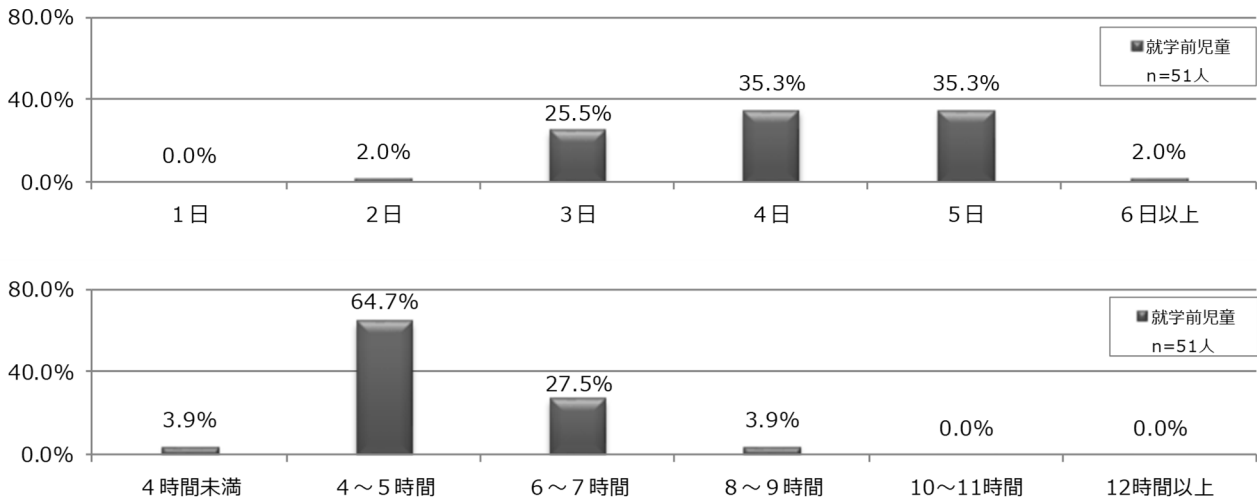
1年以内に希望する就労形態は、「パートタイム・アルバイト等」(59.3%)、「フルタイム」(40.7%)となっています。

問14(1) 就労していない母親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢



就学前児童の母親の希望する就労日数、就労時間をみると、就労日数については「4日」、「5日」（ともに35.3%）が最も多く、次いで「3日」（25.5%）となっており、就労時間は「4～5時間」（64.7%）、「6～7時間」（27.5%）となっています。

問14（1） 母親の希望就労日数（1週当たり）と希望就労時間（1日当たり）

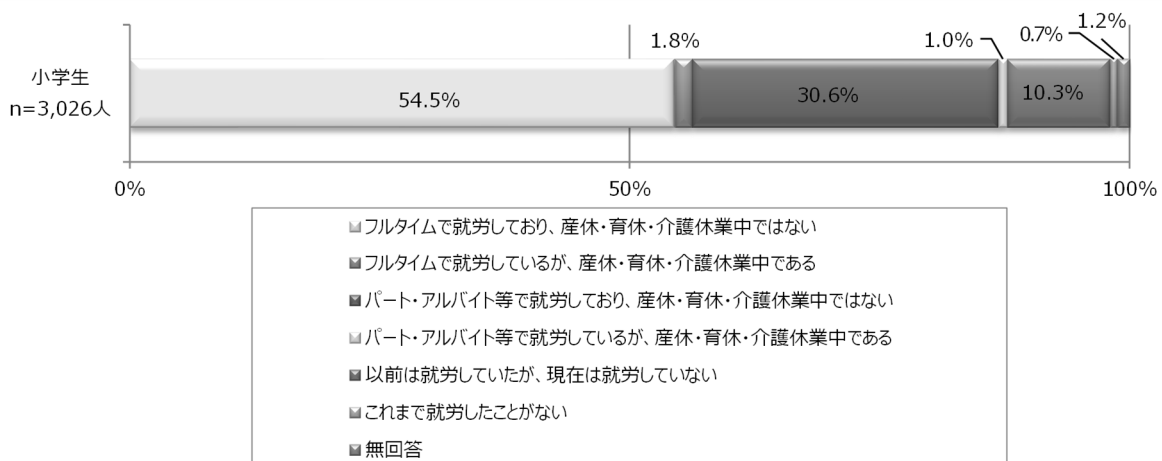


## 2. 小学生の母親の就労状況

小学生の母親の就労状況をみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（54.5%）と「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」（30.6%）を合わせた就労している人は85.1%と、就学前児童の母親と比べて12.1ポイント上回っています。

一方、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（1.8%）と「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（1.0%）を合わせた産休・育休・介護休業中の人は2.8%と、就学前児童の母親に比べて10.5ポイント下回っています。

問12（1） 母親の就労状況

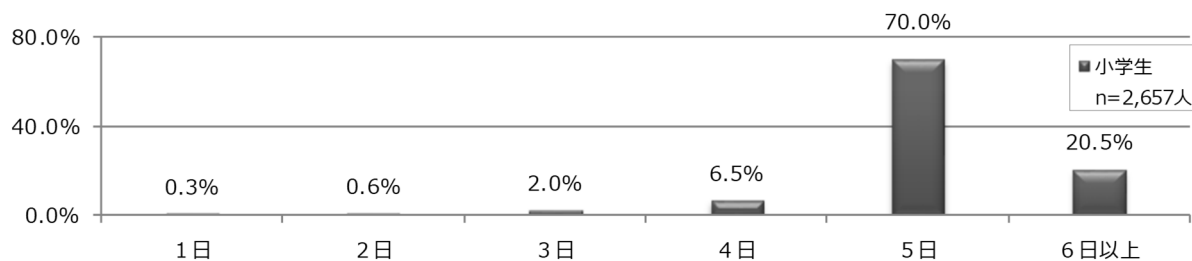


小学生の母親の就労日数、就労時間をみると、「5日」(70.0%)、「8～9時間」(51.9%)が最も多くなっています。

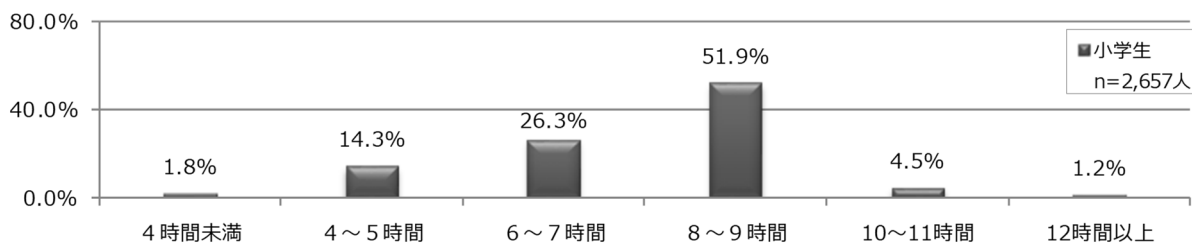
母親の出勤時間は、「8時台」(47.4%)、「7時台」(33.6%)、「9時台」(14.2%)の順となっています。

また、帰宅時間は「18～19時台」(38.5%)、「16～17時台」(26.2%)の順に多く、20時以降の帰宅は2.3%となっています。

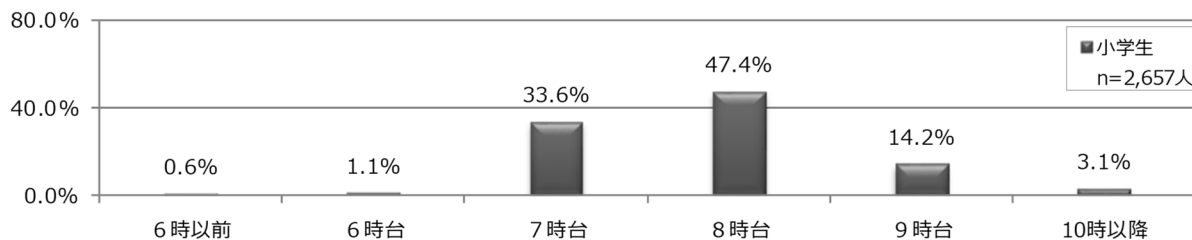
問12(1)-1 母親の就労日数(1週当たり)



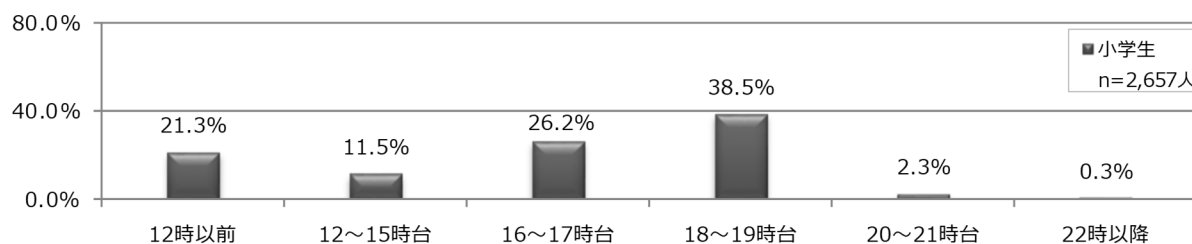
問12(1)-1 母親の就労時間(1日当たり)



問12(1)-2 母親の出勤時間



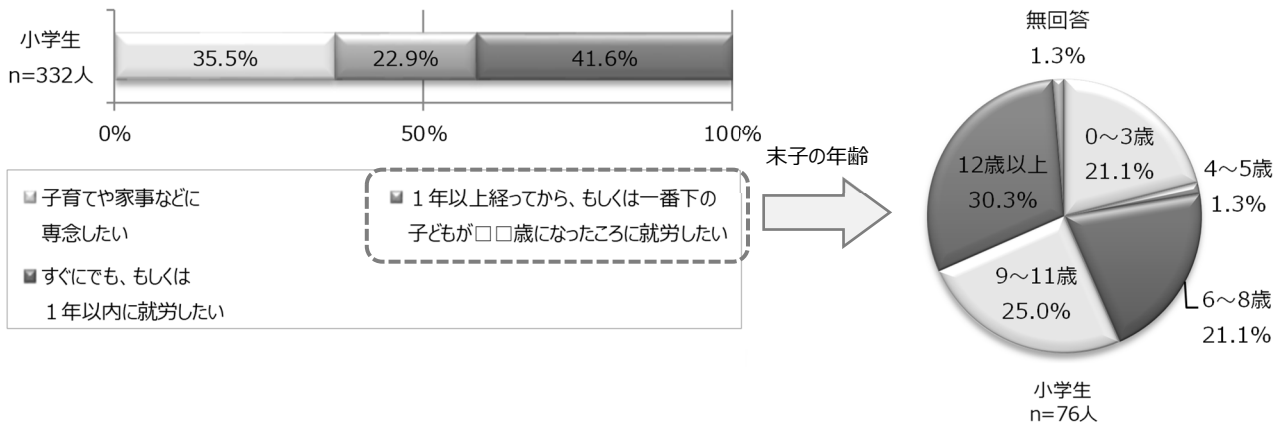
問12(1)-2 母親の帰宅時間



小学生の就労していない母親の今後の就労希望をみると、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」(41.6%)が最も多く、「1年以上経ってから、もしくは一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」(22.9%)と合わせると64.5%が就労したいと考えています。

就労希望時の末子の年齢は、「12歳以上」(30.3%)、「9～11歳」(25.0%)、「0～3歳」、「6～8歳」(ともに21.1%)となっており、小学校高学年以降の時期が半数以上を占めています。

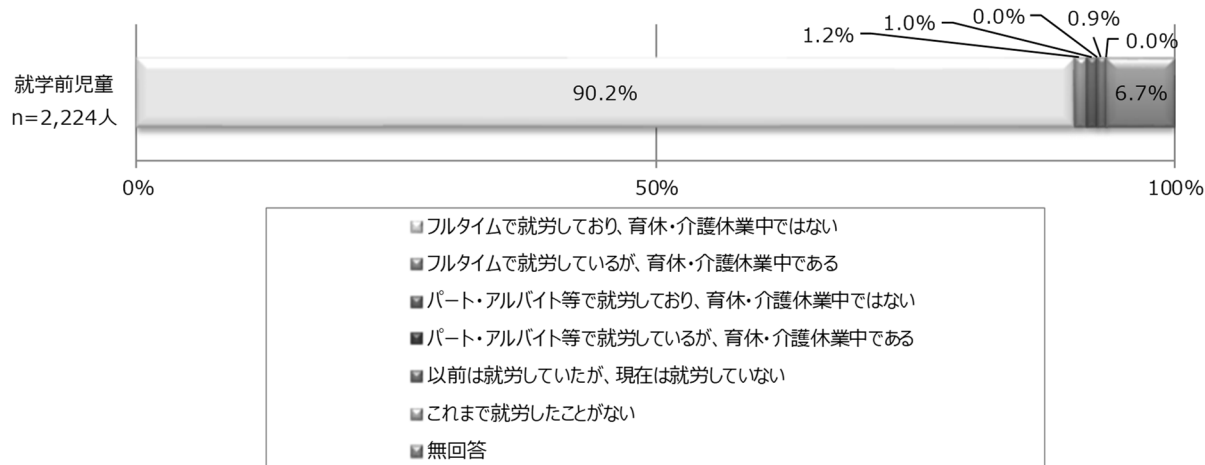
問 12-1 (1) 就労していない母親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢



(2) 1. 就学前児童の父親の就労状況

就学前児童の父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」(90.2%) が最も多くなっています。

問 12 (2) 父親の就労状況



就学前児童の父親の就労日数、就労時間をみると、「5日」(60.1%)、「8～9時間」(65.0%) が最も多く、就労日数は次いで「6日以上」(37.4%)、就労時間は「10～11時間」(20.6%)、「12時間以上」(11.1%) となっています。

父親の出勤時間は、「7時台」(46.6%)、「8時台」(31.0%)、「6時台」(9.3%) の順となっています。

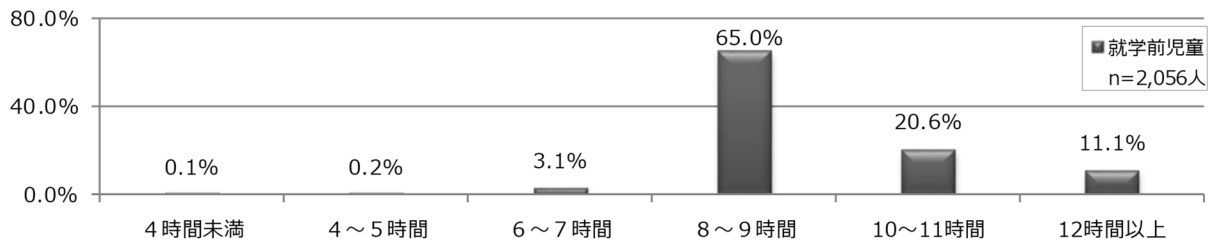
また、帰宅時間は「18～19時台」(47.3%)、「12時以前」(24.0%)、「20～21時台」(13.1%) の順に多く、20時以降の帰宅は16.5%となっています。

問 12 (2) - 1 父親の就労日数 (1週当たり)

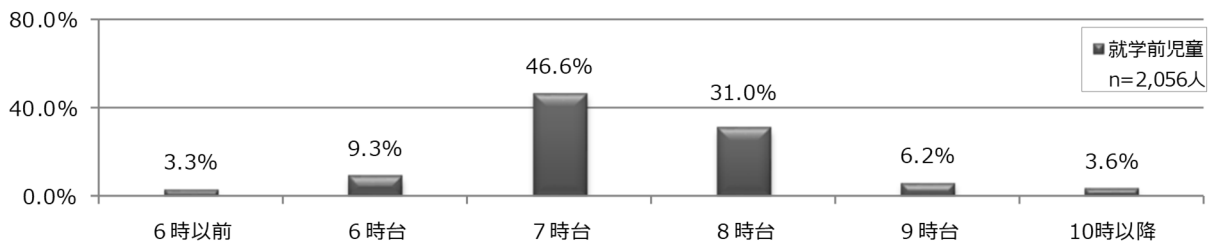




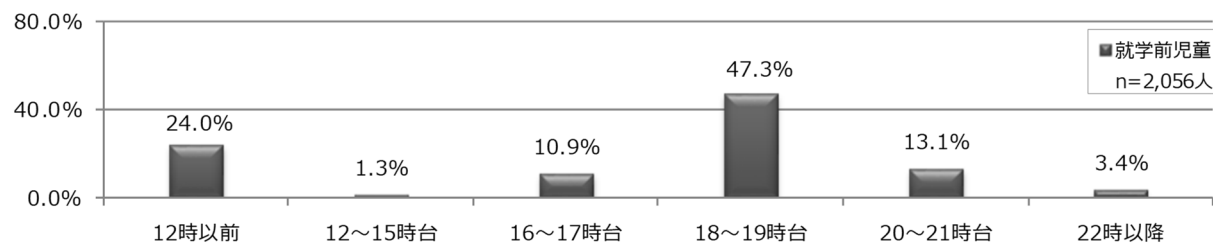
問 12 (2) - 1 父親の就労時間 (1日当たり)



問 12 (2) - 2 父親の出勤時間

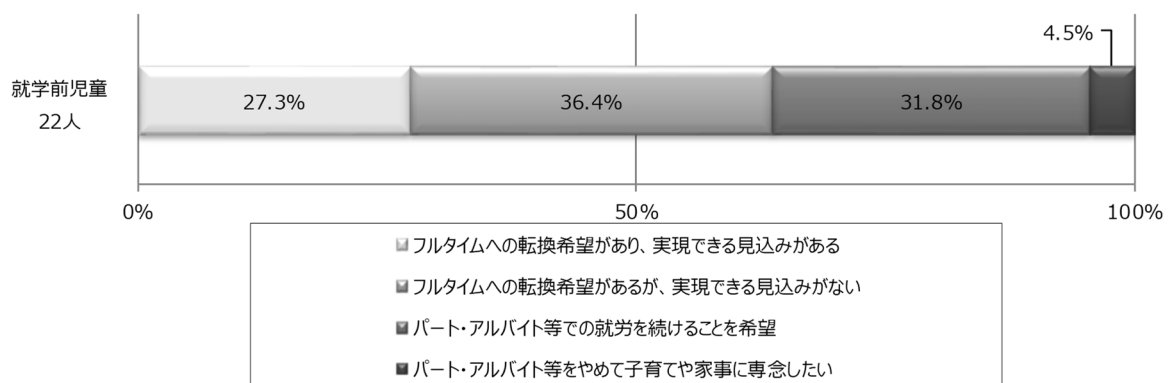


問 12 (2) - 2 父親の帰宅時間



就学前児童の父親のパートタイムからフルタイムへの転換意向をみると、フルタイムを希望する人は63.7%となっており、そのうち実現できる見込みのある人は27.3%となっています。

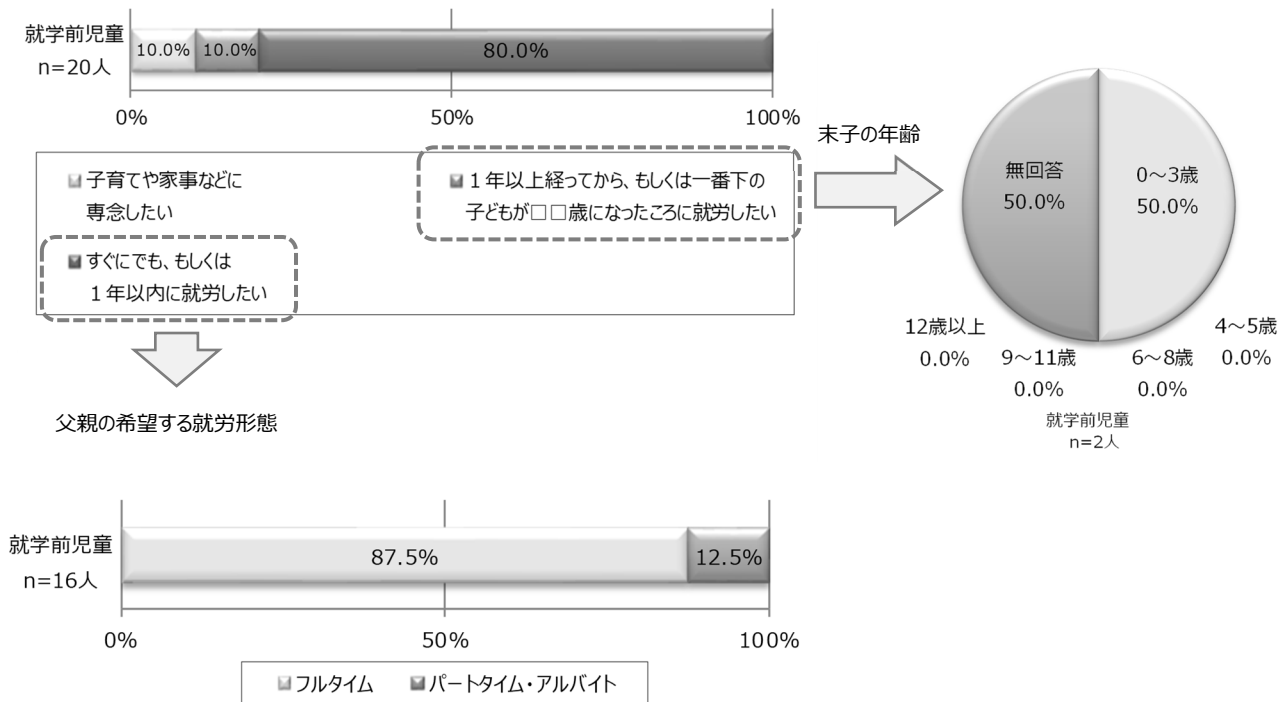
問 13 (2) 父親のパートタイムからフルタイムへの転換意向



就学前児童の就労していない父親の今後の就労希望をみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(80.0%)が最も多く、「1年以上経ってから、もしくは一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」(10.0%)と合わせると90.0%が就労したいと考えています。

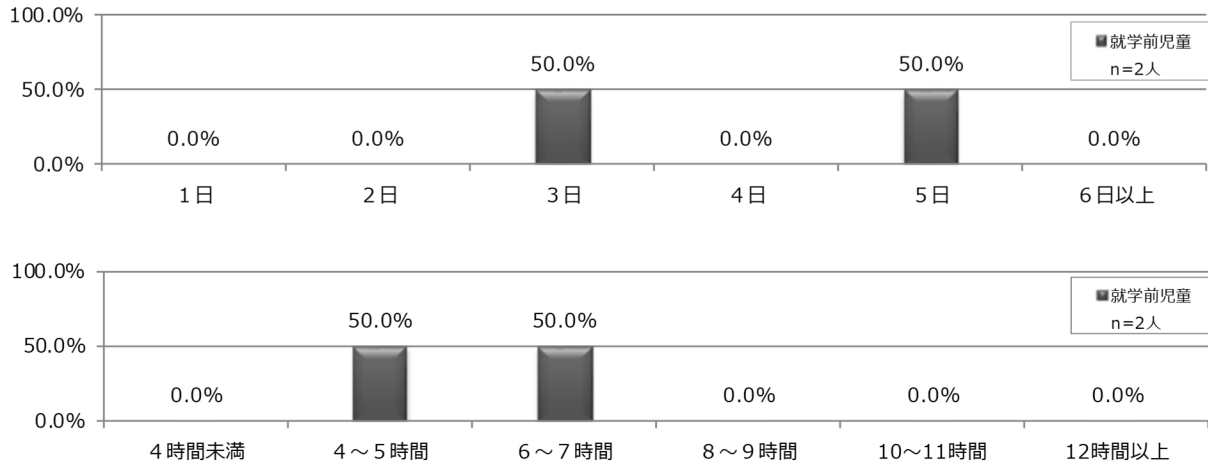
1年以内に希望する就労形態は、「フルタイム」(87.5%)、「パートタイム・アルバイト等」(12.5%)となっています。

問 14 (2) 就労していない父親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢



就学前児童の父親の希望する就労日数、就労時間をみると、就労日数については「3日」、「5日」（ともに50.0%）、就労時間は「4～5時間」、「6～7時間」（ともに50.0%）となっています。

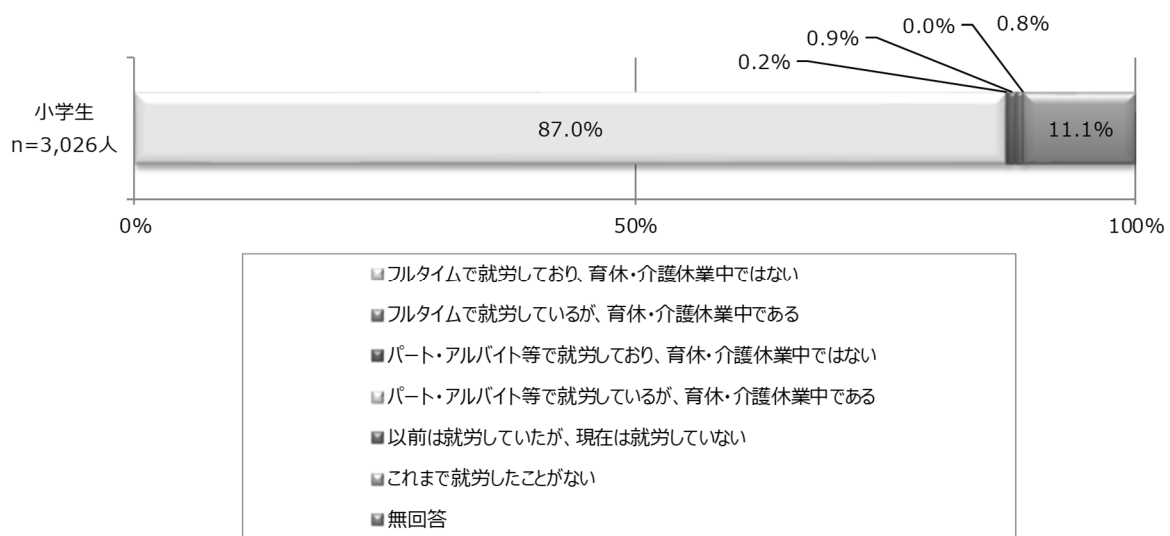
問14(2) 父親の希望就労日数(1週当たり)と希望就労時間(1日当たり)



## 2. 小学生の父親の就労状況

小学生の父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」(87.0%)が最も多くなっています。

問12(2) 父親の就労状況

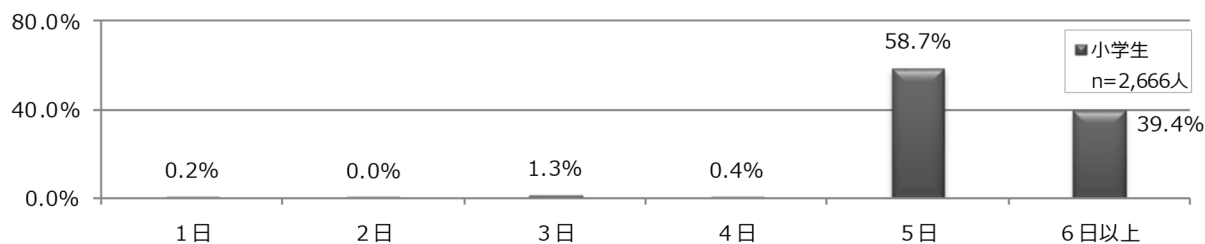


小学生の父親の就労日数、就労時間をみると、「5日」(58.7%)、「8～9時間」(66.9%)が最も多く、就労日数は次いで「6日以上」(39.4%)、就労時間は「10～11時間」(19.9%)、「12時間以上」(10.5%)となっています。

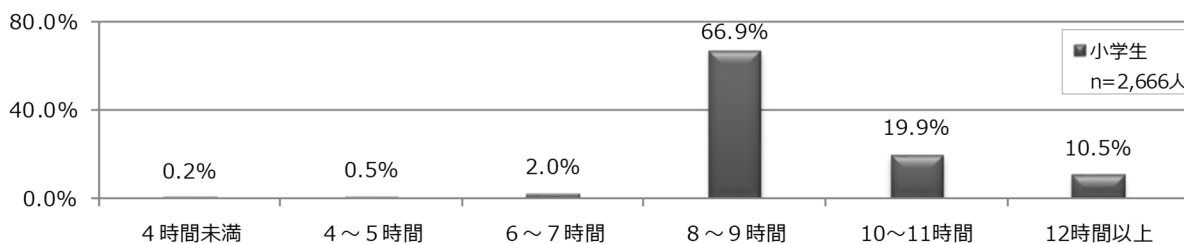
父親の出勤時間は、「7時台」(49.5%)、「8時台」(25.4%)、「6時台」(11.5%)の順となっています。

また、帰宅時間は「18～19時台」(45.6%)、「12時以前」(26.9%)、「20～21時台」(12.8%)の順に多く、20時以降の帰宅は17.0%となっています。

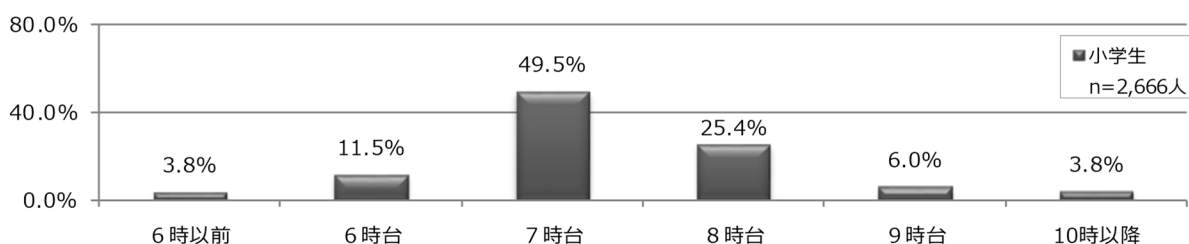
問12(2)-1 父親の就労日数(1週当たり)



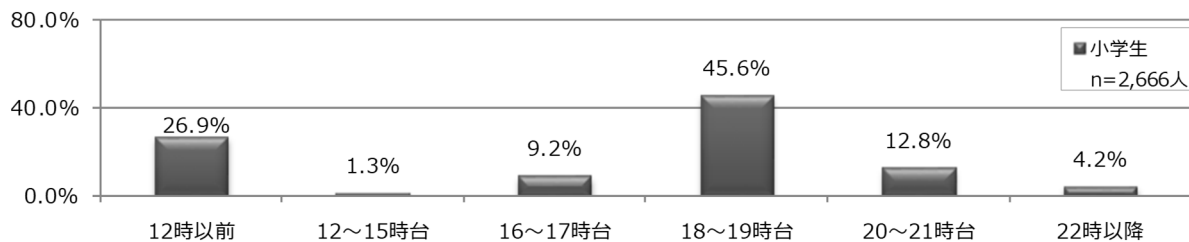
問12(2)-1 父親の就労時間(1日当たり)



問12(2)-2 父親の出勤時間



問12(2)-2 父親の帰宅時間



小学生の就労していない父親の今後の就労希望をみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(73.9%)が最も多く、「1年以上経ってから、もしくは一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」(4.3%)と合わせると78.2%が就労したいと考えています。

問 12-1 (2) 就労していない父親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢

